

どうする、高齢者・障がい者・子どもの福祉

発行者：別府市議会 弱い立場の人に政治の光を 代表 泉武弘



市議会議員 泉武弘



別府市は、「高齢者の高齢化」が進み「医療や介護」の費用は増え続けます。



令和7年度の前期高齢者 14,543人
後期高齢者 23,745人

後期高齢者が9,202人多いのです

この意味するところは、「介護」・「医療」が必要な高齢者が多いということです。

もう一つの懸念材料は、今後「認知症」の大幅増加が見込まれていることです。

厚生労働省の統計では、高齢者の認知症は2022年時点で約443万人、軽度認知症を含めると約1,000万人以上に達すると推計されています。

次に、福祉を支える人口を見ていきます



出生者の数は減り続け年間出生者数が遂に70万人を割り込みました。

1973年頃の「第2次ベビーブーム」の約209万人をピークに、長く減少が続き、2024年には約69万人と過去最低を更新、9年連続で減少しました。減少幅も最大となり少子化が深刻な社会問題となっています。

少子化にはどんな問題があるのでしょうか。

それは、この国を支える人の数が減り続け国家維持が難しくなるということです。

- 1949年（昭和24年） 約270万人
- 2011年（平成23年） 約105万人
- 2022年（令和4年） 約84万人
- 2023年（令和5年） 約72万人
- 2024年（令和6年） 約69万人

年間出生者数が9年連続で減少、遂に出生者が過去最低になりました。

次に、働く世代の人口を見ていきます

生産年齢人口とは、担税力（個人や法人が税金を負担できる能力）が高く、働く世代（15歳～64歳）で、国の生産活動や社会保障を支える中心的な年齢層の人口です。

生産年齢人口は1995年頃には、約8,700万人でピークに、2023年時点では約7,395万人程度で、総人口に占める割合も50%台後半で推移しています。

ところが、2050年には5,275万人になる推計で、2021年から29.2%減少見込みです。その結果、労働力不足や経済規模の縮小、社会保障制度への負担の増加が課題となっています。

ここまでの問題点を整理すると

- 高齢者の高齢化で医療・介護費は増加する。
- 認知症の増加が経費増加につながる。
- 出生者数の減少は、働く世代の減少に繋がり、担税力者数の減少が社会保障制度の危機につながる。

ここでの問題は、福祉に必要な経費は増え続けますが、それを支える人口は減り続けるという深刻な事態です。厳しい状況でも、社会保障に必要な財源確保をしなければ皆さんの要望に応える事ができません。

- 人口減少は、労働力不足、国内市場の減少、地域社会の衰退、税収減、経済成長の鈍化など、経済・社会・地域・個人にわたり広範かつ深刻な影響を及ぼし、特に少子高齢化は社会保障制度の維持を困難にします。

大切なあなたの町のことはなのです。



人口減少、働く人が減少しても、高齢者、障がい者、子どもに必要な福祉財源の確保はしなければなりません。

“福祉の充実”を声高に叫んでも「財源」がなければ要望に応えることができません。

市は観光客の消費を増やし、福祉充実に取り組みます



コロナ後、「健康であることの幸せ」、「健康でありたい」と考える人が大幅に増加し、旅に心身の健康を求める観光客が増加しています。

市は、この新しい旅行形態に対応できるように、温泉の効果を科学的根拠に基づき、**健康・医療・美容**に活用して、旅行者に特別体験を提供する取り組みを始めました。

この事業が、**消費を拡大し福祉の財源確保**に繋がることが期待されています。

その事業が、ウェルネスツーリズムです。

別府観光の問題点を検証します

- 日本の人口減少に伴い国内観光客も減少します。
- 国内旅行者に支えられている別府観光は人口減少で頭打ちになることが懸念されています。
- 1人当たり消費額が低く宿泊者数も少ない。
- 日本人宿泊客は、全国平均より1人当たり901円安い。
- 外国人宿泊客の消費は、全国平均より1人当たり8,117円も安い。
- 平均宿泊数は、主要温泉地の平均より0.18日少ない。

以上が別府観光の実態で、このまま推移すれば、観光産業は停滞する懸念があります。

そこで、別府市は観光の消費拡大に、**医療・美容・健康**をテーマにした、別府ならではの「**特別の体験**」を提供するウェルネス事業を進めています。



「ウェルネス」とは、健康を広義的に捉えた概念で、身体的な側面だけでなく、心理的な側面にも注目し、豊かな人生に向けて、自ら働きかける行動全般を指します。

ウェルネスツーリズムとは、この「ウェルネス」を提供する旅の総称です。

では、実際にウェルネスツーリズムで旅行者に喜ばれている企画を見てみましょう。

ヨガは「調和」「統一」という意味があります。ヨガには心身を調和させる効果があるため、健康で充実した生活を目指すのに適した活動として最も知名度が高く人気があります。

スパは入浴に加え、サウナ・アロマ・ヨガ・フィットネス・マッサージの癒し効果のある施設やサービスの総称をスパと呼んでいます。



瞑想は自律神経を整える効果があり活動交感神経・リラックス時の副交感神経のバランスを整える効果があります。

フィットネスは健康の維持・促進のために行う運動のことです。筋力の強化や心肺機能の向上など身体的な効果だけでなく、病気の予防やストレス解消にも効果があります。

レクリエーションは身体機能の向上や脳の活性化が期待できます。

コロナ後、顕著になったのは旅行形態の変化で、従来の観光地を見て回る、買い物、食事に加えて、「旅行を通して心身の健康」を目的にした旅行スタイルが大幅にふえています。

それが、**ウェルネスツーリズム**です。



ウェルネスの市場規模を見てみます

ウェルネスは、コロナ後大きく伸長している世界的な産業です。（市場規模は調査機関により異なります）

- 2024年時点で、世界のウェルネスの市場規模は、約990兆円規模に達し、日本市場も拡大傾向で、2034年までに約42兆円規模に成長する見込みで、年平均3.47%で拡大すると予測されています。
- 中でも、旅行を通じて心身の健康や幸せを追求するウェルネスツーリズムは、世界的に、また、日本国内でも非常に高い成長が見込まれています。
- 特に、コロナ後、健康意識の高まりやメンタルヘルス（心の健康）の重視、政府の支援策などを背景に、今後数年間で、市場規模が大幅に拡大すると予測されています。
- 日本では、温泉や禅、ヨガ、豊かな自然、健康的な食事、美容など独自の強みを活かし、「高付加価値旅行者」を引き付け、高い成長率で市場が拡大する見込みです。
- ウェルネス旅行者は滞在日数が長く消費単価は通常の国際旅行者の1.4倍、国内旅行者の2.8倍で、医療・美容・健康がテーマなので滞在日数は長くなり地域経済への貢献が期待できます。

そのウェルネス事業を推進するため

別府市はウェルネスの「研究」・「実践拠点」の「核」となる施設整備と運営事業の基本計画を公表しました。

ウェルネス実践拠点施設予定地は扇山ゴルフ場上の市有地約12,000坪です。

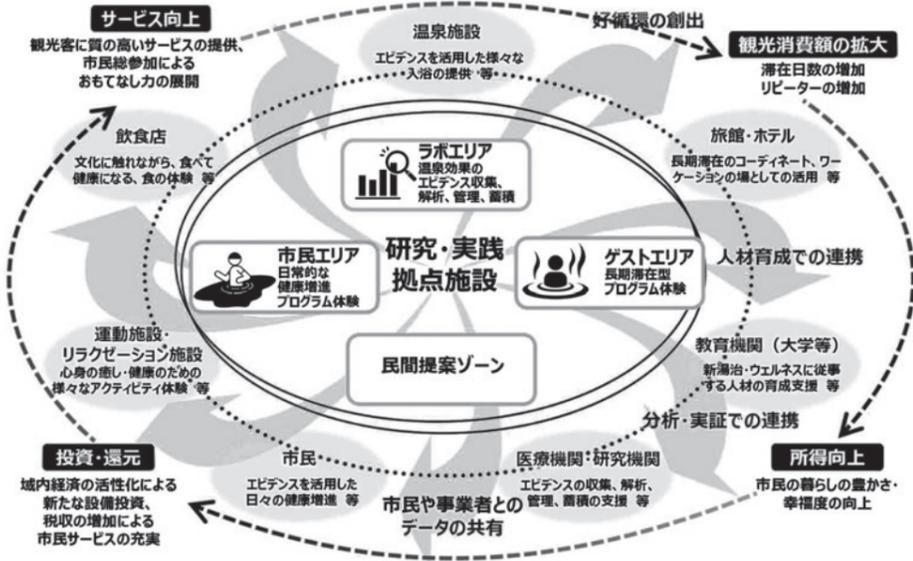
※現時点の想定で、確定したものではありません。



※写真は扇山です。

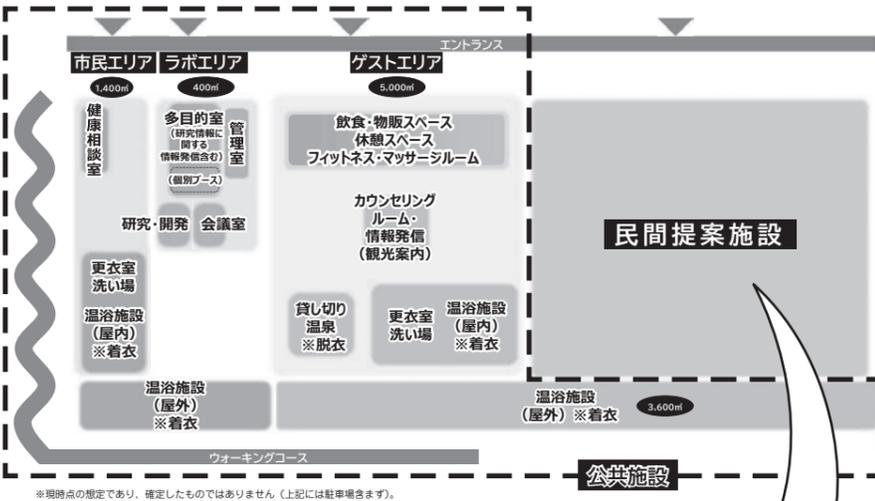
■ 新湯治・ウェルネスの将来ビジョン

「温泉効果の見える化」×「自然・食・文化などの地域資源」による
市民ウェルネスの向上と長期滞在型観光の確立



新湯治・ウェルネスの産業化により「別府の高付加価値化」を図り、
「持続可能な観光地」を実現
心身ともにより健康で豊かな生活環境が創出され、まちには幸せがあふれている

■ 導入機能の配置イメージ例



民間提案施設 に次の事業効果を求めています。長期滞在を促し、観光消費額を向上させる施設で「お客が、これは特別だ、お金を払う価値があると感じるように」高い価値を持たせるサービスを提供できる施設とすること。
特に、地域への波及効果を工夫すること、地域の文化を感じるられる内容にすることなどの要求項目が示されています。

市民エリア は健康温浴エリアとして市民の健康づくりの場所です。「着衣」のまま屋内・屋外の温浴施設を利用できます。

機能として、水中ウォーキング、湯中健康体操、ジャクジーでのストレッチ、寝湯、蒸気浴、フィットネス、マッサージルーム、ウォーキングコースなどです。

海側にウッドデッキ等の遊歩道を備え健康相談室や軽食、物販なども予定しています。

ラボエリア は温泉効果を科学的に解析、管理、蓄積して市内にある温泉効果の情報を共有、一元管理し情報共有をしながら情報発信するエリアです。

ゲストエリア は温浴体験エリアで、主に来訪者に対して、おすすめの泉質・入り方・食事内容など、個々に合わせた温泉療法・滞在の提案を行い、市内の「宿泊・温泉・飲食施設」などの観光案内を行います。

事業の目的と背景
別府市を取り巻く課題

観光消費額の低さ、宿泊数の少なさ、人口減少により、国内旅行は将来的に頭打ちになることが予想されています。別府市はコロナ後の旅行形態の変化に対応するため新湯治ウェルネスを推進しています。
新湯治・ウェルネスは、従来の「病気治療のための長期滞在」という湯治の概念を現在に合わせた形で発展させ、「医療」・「美容」・「健康」のテーマに、自然・食・文化などの地域資源を組み合わせることで、「心身の健康増進や長期滞在型観光の確立を目指す」取り組みです。

ウェルネス市場の将来は消費の拡大が見込める

- 世界のウェルネス市場は、2024年時点で約990兆円ですが2027年には1,200兆円まで拡大が見込める
- コロナ禍を踏まえ、心身の健康等、さまざまな「ウェルネス」への関心が高まっている

顧客層を拡大できる

- ウェルネス旅行者は、滞在消費額の高さ、滞在日数の長さ、リピート率が高い
- 年齢・性別関係なく、ウェルネスに関心のある全方位をターゲットにできる

世界に誇る温泉を活用できる

- あらゆる人々の心身の癒しに寄与してきた湯治文化はウェルネスとの親和性がある
- 源泉総数・湧出量日本一の別府が有する“温泉”を最大限活用できる

なぜ、ウェルネスが必要なのでしょう

既に説明したように、高齢者や障がい者、子どもに必要な費用は増え続けますが、これを負担する働く人の数は減り続けます。このまま、推移すれば福祉の充実ができません。そこで、別府市は税金を増額せずに、観光客の消費拡大を図り、その財源で福祉を充実する施策を進めています。

それが、ウェルネスツーリズムで、この拠点施設の研究を活かし産業化することが目的なのです。

次に、市の説明から事業の問題点を検証します。

- 問 温泉確保はどうするのか市民は懸念していますが
- 答 温泉の新規掘削はしないで既存温泉の余剰湯を利用します。
- 問 上下水道整備はどうするのか
- 答 上下水道整備は市が行います。
- 問 拠点施設予定地は国立公園予定地ですが
- 答 すでに公園区域内に扇山ゴルフ場がありますが関係官庁と協議して進めます。
- 問 事業費はだれが負担するのですか
- 答 民間提案事業は、民間事業者が負担し事業用定期借地を想定しています。

公共施設の事業費は、PFI事業を想定しています。

(PFI事業は、公共施設の設計・建設・維持管理、運営など市の負担を抑え、民間の資金・経営能力・技術力を活用して行う事業です)

私の、 事業に対する基本的な考え



私は、鍋山に温泉施設をつくることに反対しました。それは、鍋山地区に温泉掘削をすれば他の温泉への影響が避けられないことが最大の理由でした。

もう一つの理由は、鍋山は景観に問題があるばかりか、霧が発生するなど多くの問題がありました。鍋山反対の考えは今でも変わりません。

しかし、今回のウェルネス拠点施設予定地は、自然景観に恵まれた絶景の市有地です。

加えて、新規に温泉の掘削をしない、事業費も民間資金を活用するなど温泉や市財政への影響も配慮しています。

事業目的の、観光客の滞在時間を増やし、消費拡大に結びつける施策は、**私達高齢者や障がい者、子ども**の福祉の財源確保からも極めて重要な施策です。

合わせて、ウェルネスは別府市を持続可能な観光地にする可能性があり、都市間競争でも十分競える都市機能を具備することもできます。

ウェルネスが観光産業に高付加価値を付け、稼ぐ別府の重要施策と確信しています。

私は議員です、「**行政の監視**」が大切であることは言うまでもありません。

今後、ウェルネス事業は多くの問題が生じることが予想されますが、全力で問題解決に取り組み、消費の拡大を図り、福祉の充実に資することができるように注力します。

別府観光、**今変わらなければ**、変化への挑戦機会を逃すことのないように議員として監視機能を十分働かせ事業の進捗を慎重に見ていきます。

私は、温泉に高付加価値をつけ、産業構造を変え、消費拡大に貢献できるウェルネス事業の推進に全力で議員の務めを果たします。

お礼とお願い



今回の市政だより30,000部の印刷費の一部に、政務活動費を使わせていただきます。しかし、政治活動を活発にすればするほど資金が不足します。これからも、「市政の真実」を発信し続けたいと思っています。是非、みなさんの浄財で市政だより発行を支援していただきますようお願い申し上げます。

尚、市政だよりは経費削減のため30,000世帯全部私がお届けしています。

浄財のカンパは、

■行財政改革クラブ 泉 武弘
みらい信用金庫 鉄輪支店 005-9205309

特殊詐欺に注意



令和6年中の窃盗、詐欺、横領などの被害額は**4,000億円**を超え、過去最悪となりました。

一方、SNS型投資詐欺は**ダイレクトメッセージ**の悪用が増加しています。

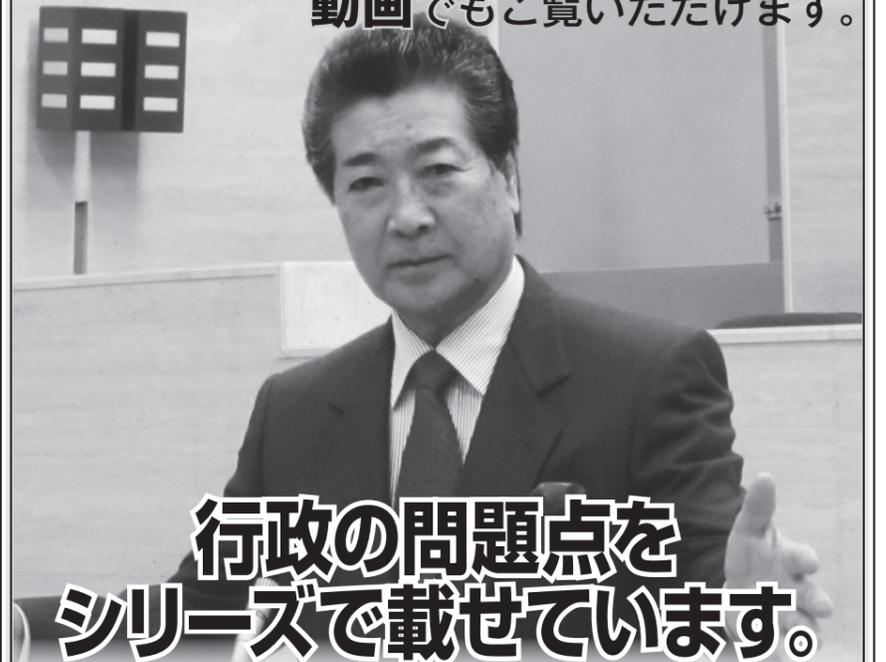
また、**ロマンス詐欺**は、発生件数、被害額ともに増加しています。特に、**マッチングアプリ**を利用した被害が目立っています。

その結果、SNS型投資詐欺、ロマンス詐欺の被害額は、約1,268億円と前年の約3倍に増加しています。

特殊詐欺では、「警察官」をかたるオレオレ詐欺被害が顕著となっており、**6年度の特特殊詐欺の被害は、約722億円**と過去最高被害額を越えています。

今号もお読みいただきありがとうございました。

ホームページはインターネットで「**別府市議会議員泉武弘**」を検索すれば**動画**でもご覧いただけます。



行政の問題点をシリーズで載せています。

HPアドレス <http://www.izumi-t.jp>

E-mailアドレス genki@izumi-t.jp

携帯090-3410-0084

TEL 0977-67-0570・FAX 0977-67-0659

